

《平成30年4月号の表紙》

見て・触って撮って楽しむ不思議な世界  
「トリック3Dアート展」  
博物館で開催中



展示作品「ミニマシーン」 作者の服部正志さん(右)

で撮って楽しむことができる大型作品16点を展示。ほかに、錯覚の不思議を学べる絵や、見る人の動きに合わせて変化する絵などの作品10点もお楽しみいただけます。家族や友人と一緒に写真を撮って、不思議な世界の主人公になりきってみませんか。

◆トリック3Dアート展  
日時5月13日(日)までの9時～17時(入場は16時30分まで。4月16・23日、5月7日は休館)

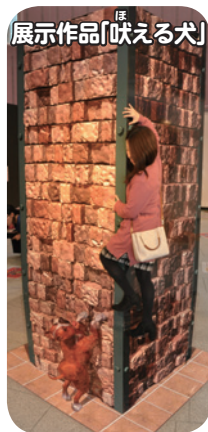
◆お楽しみ抽選会  
先着100名に、服部さんオリジナルの、トリックを使った工作キットなどが当たります。  
日時5月3日(祝)、14時から



抽選会の景品。何が当たるかは、参加してのお楽しみ!

◆七夕の妖精おりぴい撮影会  
おりぴいと一緒にトリックアールに挑戦しませんか。  
日時5月3日(祝)①11時30分②13時30分(各回20分程度) ※参加費無料、予約不要

◆共通事項/場所博物館(稲荷山1-23-1) 入館料150円(高校生・大学生100円、中学生以下無料)



展示作品「吠える犬」

服部正志さんのプロフィール  
名古屋市出身。多摩美術大学絵画科卒。2005年に滋賀県の甲賀駅舎に3Dアートを描いたことをきっかけに本格的な創作活動を始める。2010年から国内外で「トリック3Dアート展」や「魔法の絵画展」などを開催。北九州市の門司港や大分県の湯布院、川越市に常設館を開設。狭山市在住。

【服部正志さんのコメント】

今回の展示会では、平成25年に開催したときより錯覚効果が高い作品を展示しています。見て楽しむだけではなく、カメラやスマートフォンなどを使って「撮る人」と「撮られる人」とがコミュニケーションを取りながら楽しむことができるのも、3Dアートの魅力の一つです。

それぞれの作品には写真を撮るときポーズ例がありますが、正解はありません。自由な発想で写真を撮って、オリジナルの不思議なアートの世界をお楽しみください。  
問合せ 博物館へ ☎2955・3804

平成30年4月号のもくじ

- 3ページ 特集「平成30年度市長施政方針・予算」
  - 9ページ 空き家の適正な管理をお願いします
  - 10ページ 「第7期狭山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」がスタート
  - 11ページ 躍「マラソン日本記録保持者・<sup>したら</sup>設楽悠太選手」
  - 12ページ ひと・まち・写真館、さやまりポート、さやまの教育・元気なさやまっ子
  - 14ページ いきいき自治会、Zoom upどうぶつ園、市民リレー「私の宝物」、ハロー仲間たち
  - 15ページ 情報ガイド、市民のイベント
  - 28ページ 保健センター5月のお知らせ
  - 29ページ 5月の相談案内
  - 30ページ 残しておきたい狭山の風景、もぐもぐsayama、狭山のアスリート、今月の写真クイズ、今月の納期、目で見るとさやま、編集後記
- 今月の市内同時配布物  
社協だより「ふれあい」

# 平成30年度 市長施政方針

平成30年第1回定例市議会(会期2月23日～3月19日)で、小谷野市長が平成30年度の施政方針として、市政運営の基本的な考えや重点施策などを述べました。今日は、その概要をお知らせします。

【施政方針の要約】

本格的な人口減少と超高齢社会の到来、産業構造の変化などにより、取り組むべき課題が多く、行政経営は厳しい状況が続いています。

こうした中、「市民一人ひとりの力を最大限発揮し、「新たな飛躍への活力」が生まれる元気なまちづくりを進めるため、「第4次狭山市総合計画」の次の4つの重点テーマと「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組みを一層加速させていきます。

「若い世代を増やす」では、子育て世帯などの定住を一層促進するとともに、結婚、妊娠、出産の支援を充実します。また、保育施設と保育環境の充実を図り、仕事と子育ての両立支援を進めます。

教育では、さやまっ子の基礎学力の向上や生活困窮世帯の子ども達への学習支援を充実し、学力日本一の実現につなげていきます。

「まちと産業に活力を」では、引き続き企業訪問により経営課題を把握し、多くの企業が将来の展望を描けるよ

う支援します。特に、中小企業などの「稼ぐ力」を掘り起こすことができるよう、伴走型のビジネスコンサルティング事業の準備を進めます。

農業では、意欲のある若手農業者などを支援するとともに、狭山茶については、農業遺産の認定に向けた手続きや、お茶を活用した新製品の開発を進めます。

都市基盤の整備では、入曽駅周辺整備の一日も早い着工を目指すとともに都市計画道路「狭山市駅加佐志線」、「笹井柏原線」の用地取得を進めます。

「楽しむ健康高齢社会を」では、超高齢社会は「支えられる人」だけではなく、地域を「支える人」も増加するという側面もあることから、高齢になっても元気に地域で活躍できる健康第一の地域づくりを進めます。

安全安心に向けては、交通安全対策の充実を図るとともに、危機管理・防災対策として防災基本条例の制定、国民保護訓練の実施、災害時における情報伝達の強化を図ります。

また、生涯学習や生涯スポーツ、文

化振興の充実を図ります。

「市政運営をみんなの力で」では、協働によるまちづくり条例を制定し、市民や事業者と行政が連携し、知恵を出し合い、力を合わせ、次の世代につながるまちづくりを目指します。

行政組織では、「オリンピック準備室」と、さまざまな生活上の問題を抱える世帯を総合的に支援する「トータルサポート推進室」を設置します。公共施設については、そのあり方を見直し、必要な公共サービスを未来へ継続するため、公共施設の効果的な保全と再編を進めます。

これからの10年、私たちの世代が次の時代にこの狭山市をつないでいくことができるかどうかの正念場になると思います。

幸いにして、狭山市は幅広い世代の皆さんが、あらゆる分野で、地域のために活動をされています。こうした皆さんと、今まで以上に強いつながりを築き、共に豊かな地域づくりを進めていきたいと思います。

この一年、初心である「情熱一番」をモットーに、全力で市政運営に取り組んでまいります。

次のページからは4つの重点テーマに沿って、今年度に取り組む主な重点事業をお知らせします。



第1回定例市議会での施政方針を述べた小谷野市長